

第55回 新型コロナウイルスワクチンは接種しましたか？ 中和抗体はできましたか？

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



増加傾向にある 新型コロナウイルス感染者

この町報が発刊されるころは、東京オリンピックの開幕直前ではないでしょうか。7月5日現在、東京を中心とした首都圏では新型コロナウイルスの感染が再び増加してきており、特にデルタ株（インド型）が広がっています。

鳥取県でも一時は27日間感染者ゼロとなっていました。鳥取市でデルタ株の患者が出てからは毎日のように感染者の報告がされています。オリンピックに参加する選手団が海外からやってきて、感染を広げるのではないかと心配されていますが、迎える側で既に

感染が広がりつつある状態では、ホスト国としてお粗末という気がします。国内のコロナを一刻も早く終息させ、海外からの感染者にはすばやい検出、隔離を徹底的に行って、オリンピックを成功させてほしいものです。

順調に進む日野町での ワクチン集団接種

さて、以前の町報にも記載しましたが、新型コロナウイルスに対する唯一の武器はワクチンです。幸いにも日野町を含め鳥取県は都市部に比べてワクチンの供給が潤沢で、また、ワクチン接種体制も町と日野病院が良好な連携を取って極めて順調に進んでいます。

65歳以上の接種はすでに終了し、8月の下旬で12歳から64歳までの接種も終わることができそうです。お盆前には多くの町民がワクチン接種を終え、日野町においては集団免疫を獲得できそうです。

でも、ここで少し心配している人もいるかもしれません。ワクチンを打てばみんな免疫ができるのでしょうか。

うか。コロナに対する中和抗体（ウイルスを無力化する抗体）ができていますか。

コロナ感染を防ぐには 高い抗体価が必要

和歌山での研究では、1回目のワクチン接種から11日以降、85%の人が抗体陽性となっていますが、感染を防ぐ十分な量の抗体ができたのは25%しかいません。しかし、2回接種した後では98%の人が十分な抗体を持っていました。したがって、2回のワクチン接種が必要と考えられます。

しかし、これは健康な人におけるデータですので、免疫が低下するような基礎疾患、例えば糖尿病、肝硬変、リウマチなどがある患者さんや高齢者では、十分な抗体ができていくかどうかは分かりません。実際に、抗体価を測定することが必要になります。

また、ワクチン接種によって作られた抗体がいつまで持続するかは分かっていません。今後、都市部や海外に旅行するときは抗体価を測定することが必要になる

かもしれません。

日野町で投与しているワクチンはファイザー社製で、アルファ株（イギリス型）に対しては感染防御、重症化予防に有効と言われています。現在流行しているデルタ株（インド型）にも、抗体価が高ければ十分な予防効果、特に重症化予防効果があることが分かっています。

自分自身の抗体価がどれくらいあるのか、感染を防ぐだけの十分な量があるのか調べてみたい人は、日野病院で測定ができますのでお問い合わせください（※）。採血をして1時間30分で結果が出ます。自費検査ですので、5,000円が必要です。

抗体が陽性でも、3密を避ける、マスクをする、手指消毒をするといったこれまでの感染対策は引き続き行ってください。抗体を確認し、安心して日常生活を送ってください。

（※）【問い合わせ先】

・日野病院ホームページ
<http://www.hinohp.com>
・電話 0859-72-0351